



立岩山から市間山

ひろしま令峰クラブの定例山行で、10月17日ウィンドファーム事業が計画されている立岩山～市間山を縦走した。

新入会員2名、顧問を含め総勢12名で、この秋もっとも冷えた一日、霧雨と強風の中、坂原登山口からのつづら折れの急登坂をあえぎながら登り、尾根筋に出る。尾根道は歩きやすい登山道で、雨にぬれた落ち葉をサクサクと踏みながら歩けた。日の平山に行く予定だったが、時間の都合で行かず、立岩山へ。

立岩山の山頂が近づくと岩が出てきて、岩登り。山頂は少し狭いけれど、見晴らしよく、目の前に霧の中から十方山が、これから歩く市間山の尾根がよく見えた。立岩山から市間山への縦走路の樹林帯は明るく、霧雨で幻想的な風景だった。大きなブナの木があちこちに立っている。

希少なサルメンエビネが登山道脇にあって、春には楽しめそうだった。本当に気持ちの良い登山道だ。

そしてもう一つのミッションはクリーンハイク。ごみは登山道のピンクテープが二つ、登山者のゴミはなかった。

まわりの景色に気をとられているとズルッ、最後の急な下りは気をしめ、足に力を入れ、ゆっくり歩く。登山口を間違ふなど、アクシデントはあったものの、事故もなくみんな無事に予定どおりの時間に下山できた。



吉和冠山・クルソン仏岩から望む「立岩山～市間山」



ウィンドファームの計画があるとのことだが、風車を設置するために林道をつけると、そこに生きている草花、木の環境が変わり、なくなってしまう可能性が大きい。自然エネルギーでの発電のために自然環境を変え、災害を起こしかねない人工物をつくるのは違うのではと思った。

ひろしま令峰クラブ 川后敦美